

【計画進行管理表】

※R2年度の目標指標値は、令和2年4月1日時点のデータ
R3～6年度の成果値は、各年度末の数値
R7年度の成果値は、令和7年12月1日時点の数値

【評価区分】

- A 数値目標を達成できた。（達成率100%以上）
B 数値目標を概ねできた。（達成率70%以上）
C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。
D 数値目標を達成できず、方針通り進められていない。

参考資料4

番号	項目	目標指標		年度（※）						R7総合評価	今後の進め方	指標の内容・算出根拠	備考	
				R2	R3	R4	R5	R6	R7					R12
①	地域特性を生かした土地利用の形成	地区計画の指定件数	目標	2	3	3	3	3	3	4	C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。	市街化調整区域での地区計画の指定に向け、まちづくり団体を支援していく。	地区計画・・・建築物の建築形態、公共施設等の配置などから、一体としてそれぞれの地区の特性にふさわしい良好な環境を整備し、開発し、及び保全するために定められる計画。 【実績】 H14年度：西小磯柳原地区地区計画 H21年度：万台こゆるぎの森地区地区計画	
			成果	2	2	2	2	2	2	—	〈状況〉 大磯町まちづくり基本計画後期計画において、市街化調整区域における地区計画を具体的に位置づけた。			
			達成状況	100%	67%	67%	67%	67%	67%	—				
②	地域特性を生かし、安全や環境に配慮した土地利用の形成	地区まちづくり計画、指針の策定数	目標	2	3	3	3	3	3	4	C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。	今後、地区計画の指定を目指し、地区まちづくり計画の策定を支援していく。	地区まちづくり計画・・・地区まちづくり協議会が地区のまちづくりの目標、まちづくりの方針に関する事項を定める計画。 【実績】 H8年度：石神台環境保全に関する指針 H26年度：代官山南麓地区まちづくり計画	
			成果	2	2	2	2	2	2	—	〈状況〉 大磯町まちづくり基本計画後期計画において、市街化調整区域における地区計画を具体的に位置づけた。			
			達成状況	100%	67%	67%	67%	67%	67%	—				
③	歴史的建造物の保存と活用	歴史的建造物等の指定件数	目標	9	12	12	12	12	12	13	A 数値目標を達成できた。	引き続き、歴史的建造物の保全と活用に向けて、指定に取り組んで行く。	大磯町指定文化財有形文化財（建造物）、国登録文化財有形文化財（建造物） 【実績：R2年度】町指定 ・旧大隈重信別邸・旧古河別邸 ・旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡） ・旧ホテル滄浪閣ホール棟 【実績：R3年度】町指定 ・旧池田成彬別邸（西園寺公望別邸跡）	
			成果	9	13	13	13	13	13	—	〈状況〉 令和2年度に3件、令和3年度に1件の計4件を町指定有形文化財（建造物）に指定した。			
			達成状況	100%	108%	108%	108%	108%	108%	—				
④	歴史的・象徴的建造物のある風景の保全と活用	景観重要建造物の指定件数	目標	3	6	6	6	6	6	7	C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。	景観計画等により、景観重要建造物の指定及び維持・保全に取り組んで行く。 また、これまでは登録有形文化財（建築物）の登録に連動し指定しているが、単独で景観重要建造物の指定も検討していく。	【実績】景観重要建造物指定台帳 H24年度 大磯駅前洋館、鴨立庵とその敷地 H28年度 日本基督教団大磯教会	
			成果	3	3	3	3	3	3	—	〈状況〉 候補リストは上がっているものの、具体的な指定に向けた取り組みに至っていない。			
			達成状況	100%	50%	50%	50%	50%	50%	—				
⑤	多様化するニーズに応じた新たな公共交通サービスの拡充	新たな公共交通サービスの導入数	目標	1	2	2	2	2	2	3	C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。	富士見地区において、補助路線バスの撤退に伴い、新たな公共交通の導入に向け取り組む。 今後、町内の公共交通空白地の解消のため、新たな公共交通の導入を検討する。	【実績】 大磯町乗合タクシー（西小磯東地区の一部）	
			成果	1	1	1	1	1	1	—	〈状況〉 R5年度に、R10年度までを計画期間とした大磯町地域公共交通計画を策定し、具体的な施策のスケジュールを定め、進めている。			
			達成状況	100%	50%	50%	50%	50%	50%	—				

【計画進行管理表】

※R2年度の目標指標値は、令和2年4月1日時点のデータ
R3～6年度の成果値は、各年度末の数値
R7年度の成果値は、令和7年12月1日時点の数値

【評価区分】

- A 数値目標を達成できた。（達成率100%以上）
B 数値目標を概ねできた。（達成率70%以上）
C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。
D 数値目標を達成できず、方針通り進められていない。

参考資料4

番号	項目	目標指標		年度（※）							R7総合評価	今後の進め方	指標の内容・算出根拠	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12				
⑥	道路・橋りょう等の計画的な修繕及び整備	橋りょう長寿命化実施済橋りょう数	目標	4	10	20	30	31	2	-	A 数値目標を達成できた。	橋梁長寿命化修繕計画（R6～R10）に基づき、対象橋りょうの修繕を進める。	目標指標は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき策定しており、5カ年の計画で見直しを実施。 R元年度からR5年度の5カ年で31橋の橋りょうを修繕し、R6年度からR10年度の5年間で9橋の橋梁を修繕する計画となっている。	
			成果	4	10	20	30	31	2	—	〈状況〉 R6年度に目標達成し、R7年度から新たに目標数値を設定した。			
			達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—				
⑦	緑地の保全・再生による身近な自然環境空間の形成	1人当たりの施設緑地面積	目標	57.62	61.92	61.92	61.92	61.92	61.92	62.00	B 数値目標を概ね達成できた。	施設緑地の増加は見込めないが、面積の維持に努める。	H13年度・・・137.45ha（施設緑地計）÷32,300人×10,000÷42.554・・・→42.55 H22年度・・・150.44ha÷33,000人×10,000÷45.587・・・→45.59 H32年度・・・279.49ha÷33,000人×10,000÷84.693・・・→84.69 ※緑の基本計画ではH22年度、32年度の人口を36,000人で計算のため、基本計画の想定人口である33,000人で算定し直した。	
			成果	57.62	58.15	59.58	60.02	60.67	60.97	—	〈状況〉 大磯町緑の基本計画で想定している人口減少率により、1人当たりの施設緑地面積を算出しているが、同計画における想定よりも人口減少が進んでいないため、成果率が100%になっていない。			
			達成状況	100%	94%	96%	97%	98%	98%	—				
⑧	住民の活動による身近な自然環境空間の形成	公園緑地里親制度及び花いっぱい運動の登録数	目標	10	12	12	12	12	12	13	A 数値目標を達成できた。	今後も制度の周知を図り、登録数の増加に努める。	【実績】 公園緑地里親制度：7件 花いっぱい運動の登録数：7件	
			成果	10	12	12	12	12	14	—	〈状況〉 令和7年度は、新たに2団体の登録があった。			
			達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	117%	—				
⑨	治水機能の強化	二級河川の治水安全度達成率（1時間当たり概ね50mmの降雨に対応できる河川の延長の割合）	目標	64.5	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	76.4	A 数値目標を達成できた。	町内を流れる二級河川（金目川、葛川、不動川）の1時間当たり概ね50mmの降雨に対応できる河川の延長の割合。 R2年度・・・（0.24km（金目川整備済）+2.19km（葛川整備済）+1.90km（不動川整備済））÷6.71km（3河川の町内要整備延長）×100÷67.06・・・→67.1 R7年度・・・（0.34km（金目川整備済）+2.19km（葛川整備済）+1.97km（不動川整備済））÷6.71km（3河川の町内要整備延長）×100÷64.53・・・→64.5		
			成果	64.5	64.5	—	—	—	67.1	—				
			達成状況	100%	98%	—	—	—	102%	—				
⑩	災害に対する情報基盤と都市基盤の強化	防災アプリ登録者数	目標	0	5,000以上	5,000以上	5,000以上	5,000以上	5,000以上	-	A 数値目標を達成できた。	引き続きイベントや講座等での普及啓発活動を行っていく。		
			成果	0	4,951	6,176	7,247	9,813	11,046	—	〈状況〉 イベントや講座等での普及啓発を行ったことにより目標を達成することができた。			
			達成状況	—	99%	124%	145%	196%	221%	—				

【計画進行管理表】

※R2年度の目標指標値は、令和2年4月1日時点のデータ
R3～6年度の成果値は、各年度末の数値
R7年度の成果値は、令和7年12月1日時点の数値

【評価区分】

- A 数値目標を達成できた。（達成率100%以上）
B 数値目標を概ねできた。（達成率70%以上）
C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。
D 数値目標を達成できず、方針通り進められていない。

参考資料4

番号	項目	目標指標		年度（※）							R7総合評価	今後の進め方	指標の内容・算出根拠	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12				
⑪	多様なニーズに対応し、地域特性に応じた住宅・住環境の形成	建築協定、緑地協定の件数	目標	7	8	8	8	8	8	9	B 数値目標を概ね達成できた。	新たに規模や要件を満たす開発があった場合、協定の締結に努める。	【実績】 建築協定：2件 緑地協定：5件	
			成果	7	7	7	7	7	7	—	〈状況〉 規模や要件を満たす開発があった場合、建築協定や緑地協定を事業者と調整するが、そのような開発事業がないため、調整に至っていない。			
			達成状況	100%	88%	88%	88%	88%	88%	—				
⑫	空き家等の適切な管理や利活用の推進	空き家バンクの登録活用件数	目標	5	10	20	30	40	50	100	A 数値目標を達成できた。	今後は、悉皆調査に基づき空き家台帳を更新し、空き家の予防・利活用に向け、空き家所有者に対し、空き家バンクの登録への促しを行う。	【実績】 空き家バンク登録件数（R7年12月末まで） 新規登録数（空き物件+利活用活用希望者）＋年間活用数（成立物件数）	
			成果	5	15	76	94	104	106	—	〈状況〉 R3年度は空き家悉皆調査データを活用し、空き家バンクへの誘導により成果が表れたが、その後は膠着状態が続いている。令和7年度は、委託により悉皆調査を実施した。			
			達成状況	100%	150%	380%	313%	260%	212%	—				
⑬	地域特性を生かし、安全や環境に配慮した土地利用の形成	地区まちづくり計画、指針の策定数（再掲）	目標	2	3	3	3	3	3	4	C 数値目標を達成できなかったが、方針通り進めている。	今後、地区計画の指定を目指し、地区まちづくり計画の策定を支援していく。	地区まちづくり計画・・・地区まちづくり協議会が地区のまちづくりの目標、まちづくりの方針に関する事項を定める計画。 【実績】 H8年度：石神台環境保全に関する指針 H26年度：代官山南麓地区まちづくり計画	
			成果	2	2	2	2	2	2	—	〈状況〉 大磯町まちづくり基本計画後期計画において、市街化調整区域における地区計画を具体的に位置づけた。			
			達成状況	100%	67%	67%	67%	67%	67%	—				
⑭	住民の活動による身近な自然環境空間の形成	公園緑地里親制度及び花いっぱい運動の登録数（再掲）	目標	10	12	12	12	12	12	13	A 数値目標を達成できた。	今後も制度の周知を図り、登録数の増加に努める。	【実績】 公園緑地里親制度：7件 花いっぱい運動の登録数：7件	
			成果	10	12	12	12	12	14	—	〈状況〉 令和7年度は、新たに2団体の登録があった。			
			達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	117%	—				
⑮	多様なニーズに対応し、地域特性に応じた住宅・住環境の形成	建築協定、緑地協定の件数（再掲）	目標	7	8	8	8	8	8	9	B 数値目標を概ね達成できた。	新たに規模や要件を満たす開発があった場合、協定の締結に努める。	【実績】 建築協定：2件 緑地協定：5件	
			成果	7	7	7	7	7	7	—	〈状況〉 規模や要件を満たす開発があった場合、建築協定や緑地協定を事業者と調整するが、そのような開発事業がないため、調整に至っていない。			
			達成状況	100%	88%	88%	88%	88%	88%	—				